

海 (かいし) 市

No. 18

● 詩

- 02 横山 仁 生活の柄 13
06 前田 勉 バスターミナル

● エッセイ

- 10 細部俊作 蝶と出会った路 (1)
13 佐藤ただし 水田とツバメ (16)
17 横山 仁 雑記 (18)

生活の柄 13

横山 仁

蜃気楼という名称は、中国で想像上の動物である「蜃（みずち）」が気を吐いたとき現れる楼閣という意味からつけられたもので、この現象は、このほかに海市（かいし）、喜見城（きけんじょう）、貝櫓（かいやぐら）、なでの渡り、狐の森、狐楯（きつねだて）、山市（さんし）、蓬莱島（ほうらいとう）などとよばれた。俳諧（はいかい）では春の季語。「根本順吉・青木 孝」（日本大百科全書（ニッポニカ）、小学館の解説）

よる

老母のいびきの間隙を縫うように
毀れたドアのすき間からきこえてくる
のは 子守唄なのだろうか

♪キツネの嫁入り*

タヌキは婿取り

更け行く頃遠近に狐火の出で此麓に集る、
是をきつねの松明といふ、

此火多かるとしは秋田の実豊にのぼるといへり。

(菅江真澄『雪の出羽路』雄勝郡)

今年の作況は「やや良」の104だぞー
走る

与次郎^{*※}は 走る

秋田藩江戸屋敷へ 走る

一気に jomon の田圃へ

そして 死後

星にもなつたようだ

♪海市はキツネ

キツネはお稲荷さん

稲・養蚕・食物の神さん（の使い）だ

* 天気雨のことというが、雨ではなく雪だと、
タヌキの嫁入りというらしい。

* キツネの名前。秋田と江戸を六日間で往復
したという。秋田市千秋公園に与次郎稲荷神社
がある。殺された山形県東根市にも与次郎稲荷
神社がある。

*** こぎつね座。こと座のベガ、はくちよう座のデネブ、わし座のアルタイルから形作られる夏の大三角の真ん中にある。日本では、きつね座と呼んだ時代がある。(Wikipedia)

バスターミナル

前田 勉

駅前の

夕闇に滲んだ灯りが目立ち始める頃
人びとは

その美しい夕景の一部に組み込まれ
時として

流れていく電光掲示板の

白い文字に追いつけないまま

この時間の枠から

はみ出していく

バスが入るまで

同じ行先の人たちが

まるで決められたことのように
肩をすぼめてはベンチに座わり
そして

眼を伏す

向こう側の

駅ビルの光を浴び

露出過剰の翳になった人びとが
スローモーションで重なりながら
この情景から消えていく

みな

それぞれが

それぞれの時間に添って

帰るところへ

帰って行く

のだから

誰も心の内を見せることなく

それぞれの生を

それぞれに生きている
のだから

生きることは

誰から言われたのでも

自分で決めたのでもない

と

うそぶく

には

齢を重ね過ぎていた

美しかった夕景のバスターミナル

気付くことのない

取り残された

場所

蝶と出会った路（二）

細部 俊作

□女人堂跡からの路

九月半ばの火曜日、金山滝（秋田市）から女人堂跡まで登った。快晴でまだ半袖でも大丈夫。目を引いたのは滝の水量だった。流れがかなり細くなっていた。そういえば今年は雨が少なかった。もう稲刈りの始まる頃だと思いが、農家は水田の水が足りたのだろうか。オオカメノキはもう実が赤く、キバナアキギリは花の盛りだった。アカマツの木の根の方に表示板があった。樹種名のほか幹の周囲四、〇三m、花言葉（こんな大木にも花言葉があったか、何ナニ……）不老長寿とあった。竹や梅とともにめでたい樹木だから納得できる。続いて同情、慈悲と書かれていた。その意味と赤松との関連を考えたが、思いつかないまま歩を進めた。

人と出会ったのは登りの女性二人だけだった。この二人は植物についてだろうか何かを教えたり教わったりしていた。一週間前の登りの時も下山の男性一人とすれ違っただけだった。平日の登山者は減ったのかもされない。

下山後、駐車場に向かう路の両側には秋の野草が咲いていた。名前が分かかったのはミズヒキぐらいだったが、そのうち、これはと思ったのがトリカブトだった。林道では何も珍しいわけではないと思う。この路を何度も歩いていながら見過ごしていたのは、花のつかない時期だと、他の草木に紛れているからだろう。すぐ近くに赤紫色の花。これは帰宅後に山野草図鑑をめぐって分かったが、ツリフネソウというのだった。

ほかにもいろいろ咲いていてカメラを向けたのだが、どうもピントが合わない。一、二度いろいろ変えて試したが、一眼レフのように手動でピント合わせができないコンパクトデジカメの限界なのだろう。仕方がない。駐車場の際に立つナナカマドの赤い実が舗装面に落ちこぼれていた。



ところでこの日、女人堂跡から下って二、三〇分後の林内で、これまで見たこともない蝶が舞っていた。滅多に使うことのない「美しい」という言葉を言ってもいいと思った。こんな模様の翅があるのかと思ったが、その説明はカメラに任せた。翅を動かしてふわふわと飛ぶ様子がなにかやさしい感じがする。その辺りにある一〇株ほどの野草の花に止まったり離れたりしている。腰の高さぐらいの茎の先に幾つも咲いた花は、長さ一センチほどで筒状になり、先端が四つに裂けてくるりと外側に巻いている。花弁の薄水色は、上品というか清楚というかとても印象深い。蝶は私が近づいても逃げなかった。それも珍しいと思った。

下りの際中にアサギマダラという言葉が思わず浮かんできた。蝶の名前だと確信したわけではないのに。第一、アサギとは浅葱とか浅黄と書くはずだが、さっきの翅に黄やタマネギ色があったか。腑に落ちないまま、下山を再開し、登山口への路傍の野草をカメラに納めたのだった。

*

後日、アサギマダラの名で図鑑を調べたところ、私

が撮った写真（ピントが甘かった）とほぼ同じ翅の模様があった。タテハチョウの一種で、翅を広げた時の大きさが四三〜六五ミリメートル。沖縄や台湾から二、三千キロもの長距離を超えて日本に飛来する「海を渡る蝶」とか「旅する蝶」だと記されていた。そこにロマンを感じたが、それ以上に小さな弱い体に秘めた勁つよさに驚いた。春に北上し、秋には南下する。北海道南部でも見られるというから秋田にいてもおかしくない。あの蝶は、南下の途中だったのではないか。それにしても、ブナやアカマツや杉が覆っている山中によく入り込んで、または迷い込んだのかもしれないけれど、花を探し出したものだと感心した。

浅葱または浅黄というのは明るい空色だと分かった。図鑑の写真では、透明感のある浅葱色や茶色に黒い縁取りがされてまだら模様を作っている。それがステンンドグラスを思わせて、一瞬でも美しいと思ったのはそのせいではなかったろうか。あのとき蝶が止まっていた花の方は、何冊かの図鑑を開いてようやくわかった。キンポウゲ科の「クサボタン」で間違いなさそうだ。クレマチスの仲間だという。この蝶が好むと

いう幾つかの花にクサボタンの名は見当たらなかったが、研究者が知りえないことだってあるのではないだろうか。……ということは新発見？

山日記（二〇一九年一〇月）から

参考

- ・『ときめくチョウ図鑑』（山と溪谷社）
同じマダラチョウ科のカバマダラは、アメリカからメキシコの山脈へ越冬するためはるばる移動することが知られているとも書かれていた。
- ・『謎の蝶アサギマダラはなぜ海を渡るのか？』（栗田昌裕 KKベストセラーズ）
- ・『野の花山の花観察図鑑』（東京山草会 主婦の友社）
- ・ネットで「アサギマダラ 動画」で検索すると羽ばたいている様子や乱舞する姿、花の蜜を吸っている姿を見ることができると。

水田とツバメ（一六）

佐藤 ただし

ときをためる暮らしについて

前号（海市十七号）のあとがきに、つばた英子・しゅういち著「ときをためる暮らし」を引用したが、ここで「人生はだんだん美しくなる」を間違えて「人はだんだん美しくなる」と書いてしまった。訂正します。

それにしても「ときをためる暮らし」とは具体的にどうゆうことなのか。著者御夫妻は自宅の周りに畑を作り果樹を植え、毎日の食を暮らしの中心に据えた生活を続けて来られたようだが、そうした生活が人生を美しくしてくれるのか。「自分の手で暮らしを見据えたストックをつくること」が「ときをためる」ということです。」とある。著書の中にある御夫妻の暮らしぶ

りを写真で見ると、こうしたしつかりとした価値観を基に年輪を重ねてこられた印象を受ける。（注）

必要なものを手に入れるために、経済活動に振り回されるのではなく、暮らしに必要なものは出来る限り自分達で造り、欲しいものが手に入るまでじつと時間を貯める暮らし方ようだ。

ストックと言えば、今年はサツマイモやトウモロコシなどを新たに作り、天候に恵まれたせいか出来もよく、サツマイモやタマネギ、ジャガイモ、カボチャなどを保存した。

こうした保存食料を積み上げてゆくと食料を全て購入する必要がなくなり、社会へ依存する度合いが減ってゆくことになる。それは自立の一步でもある。

ときをためる暮らしとは自分の手で食や土に手を加え、そこから得られるものを味わい、土とつながる暮らしをすることと私なりに理解した。

（注）津端修一氏は二〇一五年老衰で死去されたとある。

米と大豆

十一月も末になり田んぼはイネや転作物の大豆がすっかり刈り取られ、今朝は霜が降りたせいで一面真っ白になった。

イネや大豆にとっては刈り取る直前の姿がその年の出来栄えが分かる時なので、農家にとっては一区画一区画が一つの作品と言える。そうした意味からいうと、イネや大豆の刈り取りは、その作品を消してゆく作業でもある。出来が良くても悪くても今年のイネや大豆の姿は二度と見ることは出来ない。

収穫した米や大豆は、家でも食用に使っている。米は十五年くらい前から玄米を炊いて食べている。当時は発芽玄米が流行し、白米に比べこっちの方が健康に良いと宣伝されていたこともあり、発芽玄米を作る小さい製造機を一万円ちよつとで買って始めた。

炊飯器を一台増やして二台とし、白米と発芽玄米をそれぞれ炊いて、好みの方を食べるようにした。そのため、同居している両親は白米を食べ、子供二人と私

達は発芽玄米を食べるようになり、比較的簡単に移行することが出来た。

この製造機は一回に四合の玄米を十二時間かけて発芽させて出来上がるのだが、当時は一回に四合から五合ずつ炊飯していた為、発芽玄米だけを食べようとすると製造が間に合わないため、白米を混ぜて食べたりした。そうしているうちに、夏場は外気温が高く玄米が発芽しやすくなるので作りづらかったり、発芽玄米を作るのが面倒になったりしたため、三年目頃から玄米をそのまま炊いて食べるようになった。

今はもう慣れたが、玄米を食べ始めたころは、炊きあがる時のご飯の香りが強く、家全体に広がるように感じた。

玄米を食べることで体にも変化が起きてきた。食べ始めて一ヶ月ほどで、便の量が格段に多くなり、自分でもびっくりしたのを憶えている。食物繊維のなせる業だ。また、胃のむかつきなどが無くなり、調子も良い。玄米は消化が悪いということで敬遠している人もいると聞かすが、米を削らずに丸ごと食べたほうが胃には優しいように私は思う。また、玄米ご飯をゆっくり

食べると白米ご飯とは違った、米本来の味が出てくるように思う。世間では美味しい白米が話題になることが多いが、栄養価の高い米本来の味を味わうには玄米をお勧めしたい。

さらに、玄米を上白に精米すると約一割の米糠が削り落とされるため米の量が減る。一袋三〇キロの玄米が約二七キロの白米になる。しかも精米料金は三百円。お金を掛けて栄養価の高い胚芽を捨てている訳だから、勿体ないと思う。白米は江戸時代に江戸の武士が食べるようになったのが江戸の庶民にも広がり、その後日本全体に広まって今日に至っているというが、米が日本に伝わったと言われる縄文時代の後半から江戸時代までは玄米を食べていた訳だから、玄米を食べていた歴史の方がはるかに長いと言える。

もう一方の大豆は、私も一員に加えてもらっている地域の農事組合法人が転作田で栽培している大豆を分けてもらい、八年ほど前から納豆を作っている。こちらも発芽玄米を作るために購入した製造機で作ることが出来、一回で大豆三カップ分の納豆が二〇時間で出来あがる。

作り方は簡単で、一日水に寝かせた大豆を圧力鍋に入れて蒸かし、錘が振れたら二五分位とろ火にして火を止める。鍋のロックが下りたら箆に移して水気を切り、水に溶いた市販の納豆菌を掛けて容器に分け、納豆を作る装置に入れて加温・発酵・冷却すると二〇時間後には出来ている。

玄米ご飯は水の量を間違えないことと、炊飯器のスイッチを入れるのを忘れない限り問題はないが、納豆は安い製造機を使っているせいとか、外気温度の影響を受けて発酵の度合いが変化するため、夏場は発酵が進みやすいので二〇時間もかからずにできてしまう。

納豆の原料はリュウホウという大豆で、大粒で他品種に比べ豆が柔らかいという。あの松山納豆も同じ大豆を使っているという。

余談になるが、今も続いているNHKラジオの子供電話相談室で、豆腐はなぜ豆が腐ると書くのかといった内容の質問があり、先生曰く、豆腐は豆乳を枠に流し込んで固めて作るものだから、木枠に納まっているので本当は納豆で、納豆は大豆を発酵（腐らせて）させて作るのだから、こちらを豆腐と呼ぶべきであった。

ところが、外国から納豆と豆腐が日本に渡つて来た時に間違えてしまい、豆腐は納豆、納豆は豆腐という名前を当ててしまったと答えていた。ことの真偽は分からないが、説得力のある話だ。

また、随分昔に読んだ子供向けの絵本に、日本食はご飯とみそ汁を組み合わせているが、それはお米と大豆のそれぞれの足りない所を補っているからだという内容だった。確かに米は糖質が多いが、たんぱく質は少なく、大豆はタンパク質が多いが糖質は少ない。

ご飯とみそ汁の組み合わせが日本食の基礎であるように、大豆をイネと組み合わせ、転作物として交互に田んぼで作るのは、栄養面や農業機械の共用などの経済性、そして作業性などの面で理に適っているとと言える。

雑記 (18)

横山 仁

共同通信や時事通信などがフエイク・ニュースをながしているのは、弓月恵太さんのツイッターなどをおして紹介してきたが、11月29日の魁の一面に「安倍首相演説、国連断る」「石炭火力推進、支障に」という記事が掲載された。ところが、どうやらこれもフエイクらしいのである。

(引用開始)

〔東京 29日 ロイター〕 - 菅義偉官房長官は29日閣議後の会見で、9月に米国の国連本部で開かれた「気候行動サミット」で、安倍晋三首相が国連側から演説参加を断られていたと報道されたことについて、事実関係を否定した。

報道によると、石炭火力発電の推進方針が支障になり、国連側が演説を断ったという。官房長官は「国連側から発言要請があったが、日程の都合上、参加できなかった」と説明した。「ロイター 29日 東京」
(引用終わり)

このことについて、Dappiさん@dappi2019によれば、雑誌「正論」編集長の田北真樹子氏は、「虎ノ門ニュース」(12月2日)で述べているようだ。

(引用開始)

田北真樹子「共同通信が【安倍総理が国連演説を断られた】と報じたが、聞いた話だと逆で【国連の演説要請に宮中関連の予定があり安倍総理が断った】とどこ。最近の共同は裏取り取材せずに飛ばし記事・誤報が多い」

共同が情報元のニュースはもはや信用出来ない。ニュースではなく願望を垂流してる。

(引用終わり)

*

同じく、Dappi さん (2019 年 9 月 5 日) のツイッターより。

(引用開始)

NHK がクロ現で【天皇陛下の御真影を焼く映像に抗議が殺到した】ことは触れず、慰安婦像が原因で“展示内容も知らない人も集団心理で電凸してた！”と表現の不自由展への抗議は“悪”のように印象操作。NHK は中立のふりしてプロパガンダをやる偏向報道局。

NHK が表現の不自由展が抗議で中止になったことを批判し、不自由展を擁護する番組を作ったのは、表現の不自由展の実行委員の 1 人に元 NHK の永田浩三ヒロサミからいるからでは？
(引用終わり)

「電凸・電突 (でんとつ) とは、企業、マスコミ、宗教団体、官庁、政治家、政党などに対して電話をかけるなどして、組織としての見解を問いただす行為のこと。」と wikipedia にあった。

また慰安婦像の英文説明が日本語と違っていろいろい。それに、昭和天皇の写真を燃やすことについては、津田大介氏と東浩紀氏の対談で (「ニコ生」放映より、「KAZUYA チャンネル」(YouTube) の抜粋をかりる)、笑いながら話している映像をみることができるとい。

東 「やっぱり、天皇が燃えたりしているんですか？」

津田 「ああ…フへへ何なの (??)」

東 「天皇制にはどんなお考えですか？」

(中略)

東 「税金でそういう展覧会をやるのはどうでしょうか」

津田 「でも二代前となると、人々の記憶もなんか、二代前だと歴史上の人物かなんかみたいになっていうようですね。」

(引用開始)
pel@rad10642142 あいちトリエンナーレに行っ
た者です。
写真は慰安婦像の所にあった説明書きですが、日本語
と英語では重要な所の言葉使いが違います。
嘘に嘘を重ね、日本を貶める行為は絶対に許せませ
ん！

Nekob@てヨヨんT.ヨ.ヨ.n@nekotoboku_r 8月
6日
日本語本文の中の『当事者の意思と女性の人権の闘い
を称え…』の部分に、the victims of Japanese military
sexual slavery (日本軍の性奴隷の犠牲)を追加してい
ますね。
正直 2000年代にあった性奴隷云々についてはついに
実証できなかったのに、まだ通称とされていることに
驚きです。

Nekob@てヨヨんT.ヨ.ヨ.n@nekotoboku_r 8月7

日
訂正です。 奴隷制について調べていたら、先のツイー
トで間違いに気づきました。 × slavery → ○ slavery
slave : 奴隷 slavery : 奴隷制、 奴隷所有 元画像には不
正確な部分は無く、完全に私の間違いです。 閲覧、
ツイート、いいねしてくれた方にお詫びして訂正致し
ます。 ああ恥ずかしい (顔文字あり)
(引用終わり)

ちなみに、「金髪ぶた」ともよばれる津田大介氏の
謝礼は、次のようである。

(引用開始)
山岡鉄秀 @jcn92977110
津田芸術監督への報酬は、総額 8,584,000 円 (2017
年 8 月 1 日 ~ 2020 年 3 月 31 日) 既支払い分
6,216,000 円 (2017.8.1 ~ 2019.7.31) 未払い分
2,368,000 円 ※月額 185,000 円 (2017 年度)
月額 296,000 円 (2018 2019 年度) もちろん返還
されるんだろうな。知事にこれだけ迷惑をかけたんだ

から！ [twitter.com/ztb023061/stat...](https://twitter.com/ztb023061/status...)
(引用終わり)

*

「放知枝」の mespesado さん (2019/09/07 (Sat)
より

(引用開始)

米中貿易戦争で世界経済は 91 兆円を失う恐れ、米
FRB が警告
[https://headlines.yahoo.co.jp/cm/
main?d=20190906-00010006-reutr-bus_all](https://headlines.yahoo.co.jp/cm/main?d=20190906-00010006-reutr-bus_all)

> 米連邦準備理事会 (FRB) は今週発表した調査論文
> 3 画の中で、米中貿易摩擦などによってもたらさ
> れる不確実性が企業の生産や投資の縮小を招き、来
> 年初頭にかけて米国だけで 2000 億ドル (約 21 兆
> 円)、世界全体で 8500 億ドル (約 91 兆円) の損
> 失をもたらすと警告している。

よくこういうニュースで〇〇円/ドルの損失だあ、
とかいう表現を見かけるけれど、オカネというのは誰
かが消費すれば誰かの利益になるので「無くなる」と
いうことは無い。ただし個人の家計の場合はオカネが
減るということはありうるので、個人や個々の企業で
は「〇〇円/ドルの損失」ということはありうる。そ
ういうわけで、これは個人の家計と国家や世界とい
う全体での話を混同しているという意味で「フェイク
ニュース」であり、正しくは「経済活動において
2000 億ドル分の取引が失われる」と表現すべきこと
からである。しかし、ではその取引が失われたとして
何が問題なのか。そもそも誰の取引が失われるのか。
このニュースの本質は何かをきちんと認識している
のが、以下の弓月恵太さんのツイートとそれに対する
リプ↓

[https://twitter.com/ssomurice_round/
status/1170082869672202240](https://twitter.com/ssomurice_round/status/1170082869672202240)

弓月恵太 @ssomurice_round

＞ 『米中貿易戦争で世界経済は 91 兆円を失う恐れ、米FRB が警告』

＞ 91 兆円だろうが、それが金融エリートのお金なら、一般国民は痛くも痒くもないのである。

＞ 現に米国経済は絶好調だ。

＞ まずは、オバマの最低な中国優遇政策で丸々太った江沢民上海閥の資産 100 兆円を凍結すべきだ。

↓↓↓

てっちゃん @n2ZNzJLd63wcX9u

＞ 堀古英司さん 「米中貿易問題は、実際のところ重
＞ 要なことは、米国が中国にモノを売っている金額は

＞ 年間たったの 1,300 億ドルであって、19 兆ドルの
＞ 米国経済が米中貿易問題からどれだけの影響を受け
＞ るかといった点です。数字などで考えればすく々に分
＞ かることです。」

TKD@AtomageTKd

＞ 世界の富の 82% を握っ攫う 1% のエリートのお金
＞ なんかどうでもいい (´_`)

＞ 居なくなれば 99% の人が潤う。

↓↓↓

弓月恵太 @ssomurice_round

＞ おっしゃる通り。

つまりマネーゲームに興じる連中が儲けを失うとい
うだけのこと。世界経済にとってはどうでもいい話だ、
ということですね。

オカネの話というのは、どうしても個人の家計の類推と、金額の数字できちんと考えないと印象操作でついつい騙されることが多いですが、きちんと原点に立ち返って冷静に考えるクセを付けた方がよいでしょう。

(引用終わり)

*

Follow the money! 幕末の坂本龍馬らの活動資金はどこから出ていたのか、何のために？ 英国がからんでいたらしい。

環境活動家のバツクには、国際技機屋のソロスらが、ついでという。

(引用開始)

果林&樹林 (Karin & Kirin) @japanawakening

グレタさんの後ろにはいつも同じ女性がハンドラーとして付いている。ルイーズ (Luisa-Marie Neubauer) という 23 歳のドイツ人女性の活動家で、彼女は、

"ONE Foundation" という、BONO やビル・ゲイツ、ジヨージ・ソロスが運営する機関のメンバーだ。

教会の栄光 :Benedict XVI is the only Pope @glory_of_church

この記事は必読です。グレタを利用して人為的 CO2 温暖化論を煽る者達が意図する社会改造計画を膨大な資料に基づいて説明しています。環境保護活動は莫大な経済的利益を得るための手段となっています。

「グレタ・トゥーンベリの製造」theartofannihilation.com/the-manufactur...

教会の栄光 :Benedict XVI is the only Pope @glory_of_church

マーク・モラノ 『地球温暖化』の不都合な真実』(日本評論社) は、人為的 CO2 温暖化説を批判して米 Amazon でベストセラーになった著作の邦訳です。人為的 CO2 温暖化論者が垂れ流してきた多数のホラ話を徹底的に暴いています。

bettara@bettarab1966gm

@5e265 @E7Nmsh @inori_minoru アル・ゴア (自身)
の不都合な真実 地球温暖化 CO2 犯人説の旗振り役
だった「アル・ゴア」自身はウラン鉱山・精錬企業の
オーナー → 原発利権 CO2 排出権取引の投機フアン
ドのオーナーでもある ロスチャの番頭クーロンロー
一族と結婚したゴアの娘 youtube.com/watch?list=PLj
... nueq.exblog.jp/15980130/
(引用終わり)

*

Chieko Nagayama@RibbonChieko さんのツイート
(2019年12月1日)

築地の地上はいいベンゼン
豊洲の地下は悪いベンゼン

馬鹿ばげていたが...

国際公約の輸送道路計画を潰した知事がいる。

最近

韓国原発から海へ流すトリウムは安全
福島原発からは流すなどという珍抗議

ここにまた

辺野古の理立は環境破壊
那覇空港の理立は...無言で歓迎?

*

能代のFさんの墓碑より。なぜ冬からなのかな?

冬

吹きすさぶ雪が空を覆い
凍てつく氷が川を塞ぐ

春

山の雪渓が狭くなり
里の黄緑がまばゆく輝く

夏

海の面は深く光り

川の魚は鋭く跳ねる

秋

木々は紅く装いを変え

しばしの休息の時を迎える

人みな同じ

歳を重ねてここに眠る

あとがき

◆NHKの朝のTV番組「心旅」のチームが、確か広島県内を走っているときに、林の上の方から蝶が舞い下りてきた場面があった。火野正平が「アサギマダラだ」と言ったので気がついた。四、五頭（チョウは頭と数えるらしい）だったか。人を怖がるよりむしろ歓迎しているようにさえ見えた。面白い蝶だ。来年も10月あの路で会えるかもしれない。(S)

◆今から20年前の冬に町内の風船パレーに出てアキレス腱を断裂し、思ったように体はついてきてくれないと知り、週に1回ヨーガ教室に通い始めた。だが、それ以外の日はストレッチなどをしないため、週1回程度では焼石に水で、今年は肩肘膝と体の関節が自己主張するようになってきた。令和に年号も変わったことだし、今年の冬は出来るだけ外を歩き、筋力をつけて体を立て直したい。(T)

◆ネットが繋がらなくなったり、持ち主に似て、パソコンが不調。そろそろ買い換えの時期かな？(J)

◆固定電話への迷惑電話で辟易していた。ある日から時間帯にもよるが留守録に切り替え、迷惑電話番号も拒否登録した。すると効果てきめん静かになった。こうなると、使用頻度の少ない固定電話の役割は迷惑電話防止ということになる。おかしくもありやや悲哀さえ感じる。(B)

「海市」 第18号

2019年12月12日発行

発行 書肆えん

秋田市新屋松美町5-6 横山方